

17 給食の残さ減量化に向けて

厚木市では、学校給食の食べ残し（残さ）の減量化に向けて様々な取組を行っています。

(1) 給食の食べ残し量

	学期	平成30年度		平成29年度	
		全体 (kg)	1人当たり (g)	全体 (kg)	1人当たり (g)
小学校	1学期	23,978.9kg	約28.4g	22,510.0kg	約26.9g
	2学期	23,678.8kg	約27.0g	23,650.0kg	約27.1g
	3学期	13,873.7kg	約24.0g	13,285.0kg	約21.7g
	食べ残しの処分費用	3,654,964円		3,531,033円	
中学校	1学期	18,790.0kg	約45.5g	18,812.0kg	約43.9g
	2学期	21,276.0kg	約52.0g	22,611.0kg	約53.0g
	3学期	12,272.6kg	約42.0g	12,147.0kg	約41.3g
	食べ残しの処分費用	3,108,918円		3,182,058円	

(2) 食べ残しを減らす取り組み

食べ残しの理由は、食べられる量の個人差など、子どもたちによって様々ですが、理由の1つに「好き嫌い」が挙げられます。特に野菜、豆類などの献立を残しがちである傾向があります。

調理時に味付けや調理方法を工夫したり、給食時間に担任教諭による食育の充実を図るなど、食べ残しを減らすために、教育委員会、学校、栄養士が一丸となって取り組んでいます。